

ゆうあい

第39号

令和3年
6月発行

CONTENTS

- 02 みんなでがんばろう!!
法人本部中間業務報告
- 03 苦情解決状況／ふれあいコーナー
- 04 事業所紹介●光洋愛成園
- 05 事業所紹介●ワークセンターさくら
- 06 事業所紹介●サポートセンターゆうあい
- 07 30周年記念誌発行紹介
資格取得者一覧／YOU&Iリレー
- 08 ご寄附・ご協力ありがとうございます
(人事異動／新人職員紹介
退職者紹介／職員募集／編集後記)



本紙に掲載した写真についてはご本人からの承諾を得ております。

表紙写真：広野町海浜公園にて サポートセンターゆうあい

広報誌ゆうあい 第39号 【発行】社会福祉法人友愛会／広報委員会

◆法人本部（光洋愛成園内）

◆光洋愛成園

〒979-0402 福島県双葉郡広野町大字下北迫字東町203-1
TEL 0240-23-6306 FAX 0240-23-6307

◆ワークセンターさくら

〒979-0402 福島県双葉郡広野町大字下北迫字東町203-1
TEL 0240-23-6316 FAX 0240-23-6317

◆サポートセンターゆうあい

〒979-0406 福島県双葉郡広野町大字上浅見川字大谷内106
TEL 0240-23-6233 FAX 0240-23-6255

【お問い合わせ先】

TEL 0240-23-6306

Mail yuaikai@smile.ocn.ne.jp

HP <http://www.yuaikai.net/>

友愛会PR動画



みんなでがんばろう!!

社会福祉法人友愛会
理事長 林

久美子



「桜咲き、つつじも咲いて夜の森は花の季節よ」
富岡町民歌唄い出しの歌詞である。30 年前設立した友愛会のふるさととは花を愛でる美しい心の人々の多く住んでいる街だった。2011 年東日本大震災と福島第一原子力発電所事故が続き、私達は一夜にしてふるさとを失った。長い長い避難生活を我慢し、2016 年新しい我が家ができた。第二のふるさととは『シャボン玉飛んだ。屋根まで飛んだ。』の童謡を生んだやさしい心の人々の住む広野町になった。新し

い施設は住み心地よく、これから楽しい事業をたくさん実施していくはずだったが、今度はコロナの風が吹いて来た。今、嵐になって吹き荒れている。マスク、手洗い、うがいをしっかり守り力を合わせてがんばろう。『明けない夜はない』と云う。ワクチンがみんなに行き亘ったら、コロナも静まり、私達の所にも明るい朝が来るに違いない。それまでみんながんばろう!!

法人本部中間業務報告 (令和2年 11 月1日から翌3月 31 日)

期 日	曜日	事 業 内 容	期 日	曜日	事 業 内 容
11 月 12 日	木	本部事務局会議	2 月 9 日	火	採用面接
11 月 27 日	金	医療創生大学生見学	2 月 12 日	金	双葉郡障害者等相談事業に係る公募型プロポーザル (二次審査)
12 月 12 日	土	集団就職面接会 I N 浪江	2 月 16 日	火	本部事務局会議
12 月 15 日	火	本部事務局会議	3 月 1 日	月	友愛会創立 30 周年記念誌発行
12 月 22 日	火	福島復興官民合同チームへの最終報告会	3 月 9 日	火	友愛会第 3 回理事会 (上程議案 7 件)
1 月 12 日	火	採用面接	3 月 16 日	火	本部事務局会議
1 月 18 日	月	ユース・エール認定通知書交付式 (福島労働局)	3 月 23 日	火	友愛会第 3 回評議員会 (上程議案 4 件)
1 月 19 日	火	本部事務局会議	3 月 25 日	木	法人考課委員会
2 月 1 日	月	辞令交付式	3 月 31 日	水	後期苦情解決第三者委員会

※毎月本部事務局会議を開催しています。

令和2年度 苦情解決状況について

令和2年度の友愛会各事業所における苦情受付総数は15件でした。

内容は次の通りです。

- 要望・サービスの内容 0件
 - ・情報の提供や説明 1件
 - ・権利擁護 0件
 - ・その他 6件
- 苦情・職員の処遇 2件
 - ・サービスの内容 4件
 - ・情報の提供や説明 1件
 - ・その他 1件

左記の内容につきましては、いずれも問題解決を図ることができ、相談者にもご理解を頂いている旨、報告しております。

また、令和3年3月31日に開催した後期苦情解決第三者委員会においても報告し、委員より助言を頂きました。

今後も苦情・要望については真摯に受け止めて迅速な解決を図り、利用者の皆さんが安心して利用できる環境作りに努めていきます。

ふれあいコーナー

いわき短期大学 幼児教育科

池田 彩花

実習が始まる前はきちんと実習できるのか不安でいっぱいでした。しかし、職員の方々は優しく、利用者の方々も笑顔で話しかけてくださり、少しずつ不安が薄れていきました。名前を覚えてくれたり、遊ぼうと言ってくださったりして、とても嬉しかったです。実習で学んだことを次の実習にも活かしていきたいです。

いわき短期大学 幼児教育科

小山田萌寧

私は、2週間の施設実習を通して、利用者の方々と交流や施設での仕事について学ぶことができました。初日は、とても緊張していましたが、利用者の方々がとても優しく話しかけてくれたことが凄く嬉しかったです。職員の方々の利用者の援助の仕方がとても勉強になりました。今後障害者利用施設で働きたいと思いました。とても貴重な体験をありがとうございました。

「保育実習を終えて」の意見や感想

いわき短期大学 幼児教育科

根本 優海

今回の実習で、食事介助や入浴介助等様々なことを経験することができました。活動ごとに利用者の方一人一人に合わせた支援が必要だということも学ぶことができました。初めての実習ということで大さんの不安がありましたが職員の方や利用者の方のおかげで楽しく充実した実習を行うことができました。本当にありがとうございました。

いわき短期大学 幼児教育科

宮本 澄香

光洋愛成園での実習を通して、さまざまな学びを得ることができました。これまで知的障がい者の方と触れ合う機会がなかったため不安でしたが、職員の方々や利用者の方々が温かく接してくださり、楽しく実習を終えることができました。光洋愛成園での経験を今後の実習に生かして行きたいと思います。2週間という短い間でしたが、ありがとうございました。



光洋愛成園

障害者支援施設（施設入所支援事業・生活介護事業）／短期入所事業／日中一時支援事業



瀬田川 和枝

光洋愛成園
サービス管理責任者

思いに寄り添い 安心安全なサービスの 提供に努めます

昨年は新型コロナウイルス感染症対策と共に始まり、行事や外出、面会等多くの制限がありました。利用者の皆様は感染した場合重症化のリスクが高いため、私達職員は常にウイルスを施設内に持ち込まない生活を心がけています。

施設内では密集・密接を避けることは難しい状況にあります。24時間換気と一日2回の寮内消毒、一作業一消毒を徹底し、感染防止対策を十分に行った上で触れ合いを大切にしています。

今年度も「笑顔」で彩りある生活を第一に考え、LINEのビデオ通話機能を利用したオンライン面会の他、毎月の季節行事、少人数でのイベント等施設内の行事を多く取り入れています。職員の「専門性」を発揮することで、「礼儀」正しく尊厳を大切に支援し、利用者の皆様が「安心」して生活できるように、チームアプローチで意思決定支援と重度化高齢化への対応に力を入れ支援していきます。また、地域生活支援拠点の受入施設としても地域と連携を図り役割を担っていきます。

コロナ禍でも利用者さん「笑顔」で「元気」に過ごしています！

ひな祭り



女子はひな人形の前で
ニコリ
Vサインで記念撮影



3月3日「ひな祭り」は
ひな人形を飾り、
皆さんで仮装して
お祝いました

3月3日の
昼食は
「ちらし寿司」を
頂きました



男子も負けずに仮装して
ひな祭りを楽しんでいます



鯉のぼり



端午の節句を前に
4月1日～鯉のぼりを掲揚
今年は1列増やして
3列 計21旗となりました
鯉のぼりは全て
保護者様、職員の寄贈品
今後も鯉のぼりの寄贈
よろしくお願い致します



地域の方も見学にきています！お越しの際は、是非鯉のぼりをご覧ください（5月末まで掲揚）

花見

※周辺に人がいなく、感染症対策を行いながら花見を行いました



満開の天神岬の桜の木の下で
お菓子やジュースを頂きました
天気も良く暖かいので最高の花見になりました



巨大トロロ完成



半年かけて利用者さんと一緒に
巨大トロロを製作しました

利用者さんの笑顔



コロナ禍で外出が制限されていますが、施設内のさまざまな行事で、笑顔で楽しく過ごしています
今後も感染症対策を十分に行い、
楽しいイベントを開催していきます

ワークセンターさくら

障害福祉サービス事業所 多機能型事業（就労継続支援B型事業・生活介護事業）／日中一時支援事業



秋元 俊成

ワークセンターさくら
サービス管理責任者

ワークセンターさくらの 現状について

東日本大震災から今年で10年目の節目を迎え、友愛会も高崎市から広野町に帰還して早くも6年目を迎えました。帰還当時は利用者が居ないのではないかと心配をしていましたが、今では双葉郡内の帰還も進み利用者の人数も増え帰還当時は27名でしたが、現在は日中一時事業も合わせると54名の利用者が通所しております。また、新型コロナウイルスの影響もあり利用者のスペースが確保できず利用者様には大変不便を付けておりましたが、ワークセンターさくらの増築も決まり、令和3年10月からは新たなスペースが確保できると思います。

利用者が増えたことで専門の職員も加わり、友愛会にとっても利用者にとってもまた一つ未来が明るくなってきたように思います。震災から10年ですが、最近また大きな地震が発生しています。防災についても利用者の安全安心を確保しながら利用者が楽しく笑顔で通えるワークセンターさくらであるように今後も努めていきたいと思っています。



ゆうあい vol.39

NEWS 祝！新成人！

令和3年に関根友和さん、岸部拓哉さんのお二人が成人式を迎えました。当施設でもささやかながらお祝いをさせて頂きました。



オニクオイシクナル 福島民報賞受賞

NEWS

新商品の「オニクオイシクナル」が授産施設製品（商品）開発コンクールで福島民報賞に選ばれました。利用者と職員が一丸となって製造、販売した結果が形となりました。監修をして頂いた福田シェフをはじめ、販売店の皆様のご協力にも改めて御礼申し上げますとともに今後も感謝の気持ちを忘れることなく皆様に喜ばれる商品を皆様のお手元にお届けしていきます。



福田シェフ

NEWS

ひな祭り



ひな祭り行事を行いました。ひな祭りの雰囲気味わって頂けるよう、手作りちらし寿司と甘酒を提供し、皆さんに堪能して頂きました。

聖火リレー出発

NEWS



橿葉町のJヴィレッジより東京オリンピックの聖火リレーがスタートしました。広野駅付近をランナーが走っていた様子を応援しに行きました。

商品販売

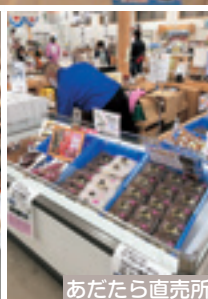
NEWS

コロナ禍で販売の機会が少なくなっている中ではありますが、様々な方々にお声をかけて頂き、貴重な販売の機会を頂きました。

コラッセ福島



イオンモール小名浜
浜通りフェア



あだたら直売所

NEWS

3.11 東日本大震災追悼行事



東日本大震災より10年目を迎え、地震訓練を行いました。改めて、地震を想定した訓練をすることで、昨今多発している地震への対策を講じました。また、発生時刻の14時46分には利用者、職員全員が作業を一時中断し、黙とうを捧げました。

サポートセンターゆうあい

障害福祉サービス事業所 共同生活援助事業／特定相談支援事業／日中一時支援事業



青木 葉子

サポートセンターゆうあい
サービス管理責任者サポートセンターゆうあいの
現状と今、感じること

広野町に暮らし、6度目の季節が巡り、福島帰還後、日々忙しくも穏やかに月日が経過しました。共同生活援助事業では、昨年GHを1棟増設、6ホームとなり、新しい入居者も増え31名の方が地域生活を送っています。

現状として、地域移行された方の多くは、高齢化が進んでおり、機能維持できるように、日々、身体を動かすような働きかけや体調の変化に気づけるよう身体状況の把握を行い、疾病の早期発見及び早期治療に努めています。又、新型コロナ対策では、基本的な予防対策に加え、対応マニュアルの見直しや、画面を通して家族と面会等できるよう整備を行いました。

相談支援事業では、継続して計画相談業務を行う他、令和3年4月から、双葉郡障害者等相談支援事業を受託しました。今後も関係機関と連携して、地域の障害のある人が安心して生活できるよう必要な支援を行っていきます。

さて、入居者の皆さんは、コロナ禍で暮らしにくい中、外出や帰省の制限等、多くのストレスを抱えながらも、感染症予防に徹し、平日は通所事業所に元気に通い、休日は社会資源が少ない中でも、今だからこそ楽しめる活動や季節行事を大切にしながら、平穏な日々が戻り、地域や家族の皆様とのつながりを持つことを誰よりも強く願っています。

今後も「皆さんが自分で感じ、決める力を発揮できるよう」一人ひとりの心に寄り添い共に歩んでいきたいと考えています。

サポートセンターゆうあいが、地域に根差した事業所となるように職員一同力を合わせて一歩一歩前進していきたいと思っています。

還暦・古希おめでとうございます



木村敏宣さん、石田照子さんが古希、石栗久子さん、高橋利枝さんが還暦を迎え、お祝いをしました。

三密を避けるため事務所で行いましたが、皆さんで手作りの飾りを準備して華やかな雰囲気で行うことができました。

本人活動の会「ぴいす」



11月に「ぴいす」が企画した芋煮会を行いました。コロナウイルス感染症対策のためサポートセンターゆうあいの敷地内ではありましたが、皆さんで協力して調理し、青空の下で食べた「山形風の芋煮」と焼き芋は格別美味しかったです。



季節の行事

クリスマス、お正月、バレンタイン、ひな祭り等季節の行事を皆さんで楽しみました。



クリスマス会の食事



お正月飾り作り



バレンタインチョコ作り



休日の様子

休日には広野町二ツ沼公園を散策してリフレッシュしたり、お楽しみ昼食で調理を楽しんだりしています。



雛人形と一緒に



30th
anniversary

友愛会 創立30周年記念誌 発行



令和2年6月8日に当法人は設立30周年を迎え、令和3年1月に「友愛会創立30周年記念誌 利用者と共に歩んだ30年」を発行いたしました。改めまして、関係各位の皆様から30年間に亘り頂いた数々の御支援に対し深く御礼を申し上げます。今後とも尚一層のお力添えをお願いいたします。



資格取得者紹介



遠藤 萌
生活支援員

このたび、サポートセンターゆうあいの遠藤萌生活支援員が第33回介護福祉士国家試験に合格しました。友愛会では、今後も職員の専門性を高めるため資格取得を推奨し、サービスの質の向上に努力してまいります。現在の友愛会全体の資格取得者数は右記の通りです。

社会福祉士	精神保健福祉士	介護福祉士	社会福祉主事	ヘルパー2級	介護初任者研修	看護師	作業療法士	保育士	栄養士	調理師	衛生管理者	防火管理者	合計
3	2	10	30	5	3	4	1	2	3	2	2	10	77



伊藤 圭洋
光洋愛成園
主任生活支援員

伊藤さんは入職1年目の私に何かと手を貸してくれた先輩です。
時には優しく時には厳しく、利用者支援で右も左も分からない私に様々なアドバイスをして下さいました。利用者さんに対して常に全力で支援を行っている姿勢は、私の中での利用者支援のお手本となっています。行事の際には率先して盛り上げ役になり、利用者さんを楽しませるムードメーカーな一面もあります。「楽しかったね」と利用者さんの思い出になるような支援をして下さる先輩です。

(記：サポートセンターゆうあい 生活支援員 萱場 樹)



大同生命株式会社様より多額のご寄附を賜りました。頂いたご寄附で"特大クリスマスツリーと全身エクササイズマシンを購入させて頂きました。利用者で職員で飾り付けをし、クリスマス当日は相応しいメニューを提供させて頂きました。

- ・高崎平和フォーラム 様
- ・(株)猪狩商店 様
- ・矢内 亨 様
- ・陰山建設株式会社 様
- ・(株)常磐中央 様
- ・社会福祉法人ル・プリ 試行会事業本部 様
- ・佐藤美也子 様
- ・福祉新聞 様
- ・原田 東光 様
- ・坂本 祐美 様
- ・菅野友美子 様
- ・福島県保健福祉部障がい福祉課 様
- ・福島県新型コロナウイルス対策本部住民支援班 様
- ・ひろのオリブ村 会長 佐藤 賢治 様
- ・池田 博明 様
- ・遠藤恵美子 様
- ・大山 伸一 様
- ・松本 房夫 様
- ・金森喜代子 様
- ・大同生命株式会社 様

皆様の温かいご寄附・ご協力ありがとうございます。



令和3年度 人 事 異 動

法人本部

- 法人本部事務局長（期間雇用職員・再任用）
新妻 哲二

光洋愛成園

- 法人本部総務主任兼光洋愛成園事務主任（正職員・異動）
森川 創太（前 法人本部総務主任）
- 法人本部事務員兼光洋愛成園事務員（正職員・異動）
川崎 愛（前 ワークセンターさくら 職業指導員）
- 生活支援員（正職員・新採用）
鯨岡 紗
- 生活支援員（正職員・新採用）
齋藤 靖子

ワークセンターさくら

- 生活支援員兼作業療法士（正職員・新採用）
堀川理津子
- 生活支援員兼事務員（正職員・新採用）
須田 充希（前 ワークセンターさくら 調理員 期間雇用パート職員）
- 調 理 員（期間雇用パート職員・新採用）
関根 貴子

サポートセンターゆうあい

- 生活支援員（正職員・異動）
遠藤 萌（前 光洋愛成園 生活支援員）
- 生活支援員（正職員・異動）
芳賀 大樹（前 光洋愛成園 生活支援員）

新 人 職 員 紹 介



鯨岡 紗（光洋愛成園 生活支援員）
趣 味 ライブを見に行くこと、音楽鑑賞
一 言 不安もありますが、仕事を早く覚えさんと楽しくお仕事したいです。



齋藤靖子（光洋愛成園 生活支援員）
趣 味 演劇鑑賞、ピアノを弾くこと
一 言 利用者の皆さんが安心して過ごし、笑顔がたくさん見られるような支援をしたいと思っています。よろしくお願い致します。



堀川理津子（ワークセンターさくら 生活支援員兼作業療法士）
趣 味 手芸
一 言 4月から入職致しました、生活支援員兼作業療法士の堀川です。知的障がい者の施設での勤務は初めてですが、持ち前の元気と笑顔で利用者様と関わっていききたいと思います。



関根貴子（ワークセンターさくら調理員 期間雇用パート職員）
趣 味 ヨガ
一 言 皆様に美味しい食事を提供できるよう日々勤めていきたいと思っています。よろしくお願い致します。

職 員 退 職

新妻 哲二（定年退職） 法人本部事務局長

飯土井和博（一身上の都合による） 光洋愛成園 生活支援員

渋谷 真司（一身上の都合による） サポートセンターゆうあい サービス管理責任者兼生活支援員

友愛会では職員の募集をしています。

募集人員

- 光洋愛成園
生活支援員 正職員 1名
生活支援員 期間雇用パート職員 1名
- ワークセンターさくら
生活支援員 期間雇用パート職員 1名

資格要件

- 高卒以上 ● 59歳以下 ● 普通自動車免許

待 遇

友愛会就業規則及び給与規程によります。詳細につきましては、社会福祉法人友愛会 法人本部事務局へお問い合わせください。
※既に募集人員を満たしている場合もございます。随時、最新の求人状況についてはホームページ上に掲載しておりますので、ご覧ください。

問い合わせ先

〒979-0402
福島県双葉郡広野町大字下北迫字東町 203-1
☎0240-23-6306
HP <http://www.yuaikai.net/>

職 員 募 集

令和3年度を迎え、当法人は広野町へ帰還後6年目を迎えました。昨年度同様、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を継続しながら、日々、職員一丸となって利用者支援に携わっています。あの東日本大震災から10年目を迎え、当法人が社会福祉法人の役割と使命のもと、双葉郡の福祉の発展に寄与できるよう、利用者・職員が一歩ずつ未来へ歩むことができる1年になればよいと思います。